

令和元年度 第5回
日野市教育委員会定例会議事録要旨

令和元年（2019年）8月8日

日野市教育委員会

令和元年度第5回日野市教育委員会定例会

開催日時 令和元年（2019年）8月8日（木）
14時01分～16時50分

開催場所 505会議室

出席委員 教 育 長 米田 裕治 委 員 高木 健夫
委 員 西田 敦子 委 員 濱屋 浩
委 員 真野 広

欠席委員 なし

議事録署名委員 委 員 濱屋 浩

事務局出席者 教 育 部 長 山下 義之 教育部参事 金子 龍一
教育部参事 谷川 拓也 教育部参事 志村 理恵
（兼・総務課長）
庶務課長 村田 幹生 学 校 課 長 加藤 真人
ICT活用教育推進室長 青木 真一郎 教育支援課長 高原 洋平
教育センター事務長 菅野 雅巳 生涯学習課長 関 健史
中央公民館長 佐藤 早苗 図 書 館 長 飯倉 直子
郷土資料館長 小林 正明 学校課主幹 山口 敦子

傍聴者 21人

書記 庶務課課長補佐 中村 守助
庶務課主任 馬場 康二

議事内容 別紙のとおり

この議事録は事実と相違ないことを認め、ここに署名します。

議事録署名

委 員

濱屋 浩

議事録署名

教 育 長

米田 裕治

議事内容

議案

- 第 1 9 号 日野市立小学校教科用図書採択について
- 第 2 0 号 日野市立中学校教科用図書採択について
- 第 2 1 号 日野市立中学校教科用図書（特別の教科 道徳）採択について
- 第 2 2 号 日野市立小・中学校特別支援学級教科用図書採択について
- 第 2 3 号 日野市立幼稚園保育料条例の一部を改正する条例の提出について
- 第 2 4 号 教職員の内申の専決処分について
- 第 2 5 号 教育委員会職員の分限休職の専決処分について

協議事項

- 第 1 号 日野市立小学校教科用図書の選定について
- 第 2 号 日野市立中学校教科用図書の選定について

報告事項

- 第 1 0 号 行政情報の公開請求

(議事の要旨)

開始 14 時 01 分

[米田教育長]

ただいまから、令和元年度第 5 回教育委員会定例会を開会いたします。

議事に入ります前に、本日は傍聴希望者がいらっしゃいますので、傍聴を許可したいと思います。異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

[米田教育長]

異議なしと認め、傍聴を許可します。

(傍聴人入室)

[米田教育長]

本日の議事録署名は、濱屋委員にお願いいたします。

本日の案件は、議案 7 件、協議事項 2 件、報告事項 1 件です。

会議の進め方ですが、まず協議事項第 1 号を協議し、次に、議案第 19 号、次に、協議事項第 2 号を協議し、次に、議案第 20 号から順次、審議を進めていきたいと思います。また、議案第 24 号および議案第 25 号は、公開しない会議とし、最後に審議したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[米田教育長]

異議なしと認め、まず協議事項第 1 号を協議し、次に、議案第 19 号次に協議事項第 2 号を協議し、次に、議案第 20 号から順次、審議を進めていきます。また、議案第 24 号および議案第 25 号は、会議規則第 10 条の規定により、公開しない会議とし、会議の最後に審議します。

それでは、議事に入ります。

協議事項第 1 号・日野市立小学校教科用図書の選定について、事務局より説明をお願いします。

○協議事項第 1 号 日野市立小学校教科用図書の選定について

[谷川教育部参事]

協議事項第 1 号・日野市立小学校教科用図書の選定について、ご協議をお願いいたします。

議案書 55 ページをお開きください。

まず、今年度の採択についてご説明いたします。今回は令和 2 年度から 4 年間、令和 5 年度まで使用する小学校教科用図書を採択するものでございます。

まず、今回の採択事務を進めるに当たり、平成 31 年 3 月 28 日の教育委員会定例会において、日野市立学校教科用図書採択要綱を定めているところでございます。また平成 31 年 3 月 29 日付で文部科学省初等中等教育局から各都道府県教育委員会宛に、「2020 年度使用教科書の採択事務処理について」の通知がございました。

日野市におきましては、日野市立学校教科用図書採択要綱とこの文部科学省からの通知に沿って、各学校、各教科委員会で調査研究を行い、その後審議会で審議を進めてまいりました。調査研究は四つの観点で進めてまいりました。四つの観点は、1 内容、2 構成・分量、3 表記・表現、4 使用上の便宜でございます。

次に、今回の採択事務の経過についてご説明いたします。

5 月、日野市立学校教科用図書採択要綱に基づき、各小学校で教科用図書の調査研究を行いました。6 月、各小学校は教科毎に設けられた教科委員会に調査研究報告書を提出しました。教科委員会は、委員長、副委員長、主幹教諭、指導教諭、主任教諭等の 8 名で構成され、各学校から提出された調査研究報告書をもとに調査研究を行いました。教科委員会は 6 月 5 日から 6 月 28 日までの期間に開催されました。

続いて、教科用図書採択審議会を行いました。この審議会は、校長 3 名、副校長 3 名と保護者 6 名の計 12 名によって構成されています。この審議会では、教科委員長が教科ごとに調査研究した内容を報告し、教科用図書を実際に読んで確認したり、質問したりして活発な審議が行われました。教科用図書採択審議会は 7 月 2 日、8 日、9 日、12 日に開催されました。7 月 16 日教科用図書採択審議会は日野市教育委員会に答申書を提出いたしました。

教育委員は、7 月 17 日、18 日、25 日、26 日、29 日、30 日そして 8 月 1 日に、教科用図書採択審議会の答申書、並びに東京都教育委員会が作成した小学校用教科書調査研究資料を踏まえ、全ての教科用図書について調査研究を行いました。これが本日までの採択事務の経過でございます。

なお、教科用図書は 6 月 4 日から 6 月 30 日まで、市政図書室、中央図書館、高幡図書館の 3 箇所で開催できるようになっておりました。そしてこの 3 箇所には、教科用図書や展示についてお気づきの点をご記入いただくアンケート用紙を置きました。期限までに寄せられたご意見、ご感想等は 32 件になります。これらのご意見、ご感想の全てを教育委員が読み、どのようなご意見、ご感想があったかについて確認しております。

本日の協議事項といたしましては、各教科、各種目の教科用図書についてご協議をいただき、それぞれ 1 者を採択候補として選定していただきたいと存じます。

以上で説明を終わります。ご協議のほど、よろしくお願いいたします。

[米田教育長]

事務局からの説明が終了しました。教育委員会は、7 月 16 日に日野市立学校教科用図書採択審議会より、答申を受けました。その答申書の内容を踏まえ、東京都の教科書調査研究資料も参考にしながら、実際の教科書をもとに調査研究を行ってまいりました。それらを通して本日までに、それぞれの委員が、どの教科用図書を採択の候補とすべきか、判断されたことと思います。

選定の方法について、お諮りいたします。ただいまからお配りします用紙に、選定の候補としたい発行者を選んでいただき、候補とされた教科用図書について、協議を進めていきたいと思いますが、いかがでしょうか。

[高木委員]

私のほうから提案がございます。今、教育長がおっしゃったように、本日を迎えるまで

に私どもとしましては、すべての教科書について、いろいろな角度から調査研究を行ってきたところですが、どの教科書もそれぞれの特徴や良さを持っていて、正直なところ、なかなか甲乙付け難く、1 者だけ選ぶのは難しいと感じるところもあると思います。そこで、選定するに当たりまして、従来どおり、1 人の持ち点を 2 点とし、1 者に 2 点をまとめて入れることも、あるいは 2 者に 1 点ずつ分けて入れることもよいといった方法をとって、点数を累計して候補教科書を決めてはどうかと思いますが、いかがでしょうか。

[米田教育長]

選定の方法について、ただいま高木委員から提案がございました。皆さん、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[米田教育長]

異議がないようですので、各委員の持ち点を 2 点として選定を行ってまいります。事務局は各委員に用紙を配付してください。そして、各委員の記入が終わりましたら、速やかに集計してください。

(用紙配付、記入)

[米田教育長]

国語の集計結果が出ましたので、国語から協議を始めます。

光村図書出版 9 点、教育出版 1 点となりました。各委員さんからのご意見を承ります。

[濱屋委員]

私は光村図書が良いと思いました。国語科で学ぶ、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」についての学習の過程がわかりやすく示されています。例えば、読むことについての教材では、単元の目標のあとに、「とらえる」「深める」「まとめる」「広げる」の 4 つの学習過程が明示され、文章を読むときに注目する視点が説明されています。子供たちが内容を理解したり、考える手助けになると思いました。

読む教材に関しては、味わいのある文学作品と論理的な思考力を育てる説明文の文章の教材がバランスよく取り上げられています。また、話すことについては、6 年生で目的や条件に応じて計画的に話し合うことや伝えにくいことを伝える教材があります。日野市が第 3 次学校教育基本構想で大切にしている対話のあり方について、子供たちが考えることができる点も良いと思いました。以上です。

[真野委員]

私は全ての教科書について調査研究を行いましたけれども、1 者に絞りきれませんでした。両者のそれぞれ特徴、いい点をもっていましたので、私は光村図書と教育出版に 1 点ずつ配点させていただきました。

最初に光村図書です。少し設問が丁寧すぎるくらいはありますが、文章の読み方を学ぶ観点で例示が多彩な点、また、自身の学びを深めるためにグループで自分の思いを伝え合う活動など、そういったところを重視している点がすぐれていると判断いたしました。

次に教育出版ですが、学んだことをもとに読書感想文を作成したり、ポスターを作成するなど、具体的な活動に結び付けることにより学ぶ喜びを深めることができる、その点がすぐれていると、こう私は判断いたしました。以上です。

〔西田委員〕

私も光村図書が良いと思いました。まず、見通しをもって学習できることです。目次に続いて、「国語の学びを見わたそう」があります。右ページには学習の進め方が、子供が学習している姿で示されています。左ページからは、その学年で学習することが領域ごとに書かれており、これからどんな学習をして、どんな言葉の力を付けていくのか分かります。また、下の段には前の学年で学んだことが簡潔に書かれていて、振り返りながら学習を進めていくことができると思いました。

次に、日野の子供に学んでもらいたい学習活動がたくさんありました。例えば、読むことでは、詩歌の作品が他者に比べて多いです。長い間親しまれてきたすぐれた詩もあれば、最近の詩もあります。3学年から、詩を楽しもう、詩を味わおう、詩の楽しみ方を見つけよう、の流れで学習していきます。特に「詩の楽しみ方を見つけよう」では、学年に応じた楽しい詩の学習の例が紹介されていて、子供たちは自由な発想で創造的な学習ができると思いました。ここで、第3次日野市学校教育基本構想が進める、一律ではない自分に合った学習ができると思いました。

三つ目は、「話すこと・聞くこと」では、2学年から6学年まで「対話の練習」が載っています。見開きで子供が対話をする様子がイラストでわかりやすく紹介されていて、子供たちは様々な対話の形を体験して、必要なことを身に付けていくことができます。日野市の第3次基本構想では、「対話」をベースにして進めようとしていますので、日野の子供たちにふさわしい学習活動だと思いました。

次に、「書くこと」では、学年に応じて様々な書くことの学習活動が取り上げられています。例えば2学年から6学年まで、「つづけてみよう」のコーナーがあります。2学年の上で心に残ったことを一言で書いてみましょうに始まり、3学年は、日記をときどき読み返してみましょう、また、友達にも知ってもらいたいと思う日記を選んで友達に読んでもらいましょう、読んだ人は感想をふせんに書いて貼りましょうなどと、続けて書く楽しさやそれを友達と共有する楽しさが紹介されています。無理なく書く習慣を身に付けていく良いコーナーだと思いました。

また、語彙を豊かにする工夫が様々なされており、本の紹介も工夫されています。5年生の文学教材「大造じいさんとガン」は、原文どおりに前書きが載せてあるので、文章の深い理解に役立ちます。これらを考え合わせて光村図書を選びました。以上です。

〔高木委員〕

私は光村図書がいいと思いました。各学年の「季節の言葉」で、春夏秋冬の風物やくらし、行事、古典、二十四節気など学べるように考慮されていること。それから、各単元での見通しをもとうでの、とらえよう、深めよう、まとめよう、広げようという項目がありまして、広げようでは、話し合いや発表が位置付けられていること。そして見通しをもとうの下段に、学習の具体的な内容についての例示があり、ステップを踏んで子供たちが学習を進めることができ、良いと感じました。以上です。

〔米田教育長〕

私は光村図書がいいと考えました。まず、日野市では昨年一年間かけて市民の皆さんがつくっていただいたこの日野市未来に向けた学びと育ちの基本構想、第3次日野市学校教

育基本構想があります。この基本構想では、一人一人が、自分に安心して、そして自分を最大限に伸ばしていくことができる、そういう学びと育ちの環境をみんなで作っていかうということが定められました。まずは、一律一斉の学びから自分に合った多様な学びと学び方へ、自分たちで考え語り合いながら生み出す学び合いと活動へ、わくわくが広がっていく環境のデザインへ、これをこの4月から具現化するためにみんなで一緒になって、この学び合い育ち合いの活動をみんなで作っていつているところでございます。

さて、国語の教科書でございます。光村図書については、各委員が光村図書についてお話をされたように、子供たちが作品と出会ったり、それから表現したり、語り合いながら学びが広がっていく教科書だと思います。重なる部分は少し割愛させていただきまして、私が一番注目したところは対話の営みということです。6年生の教科書には対話の練習、「いちばん大事なものは」、という単元があります。そこではこう書かれています。いろいろな考え方を聞いて、自分の考えに生かす。人によって考え方はちがう。その人がなぜそのように考えるのか、理由や背景を理解する。他の人と思いや考えを交流することで、自分の考えを広げたり、深めたり、新しい視点を見つけたりする。

日野ではこの活動を特に大切にしたいと考えております。いろんな人がいる、いろんな人がいればいろんな考え方がある。だけどその奥に届いて人と人が共感することから始まる。そこから第三の新しいものが生み出されていく、そういう活動をしっかりと丁寧につくっていかうということで、この第3次構想のこの中に対話ということがしっかりと位置付けられています。そういう意味で、光村図書はそのことが具現化できる教科書だと思います。

〔米田教育長〕

他に発言もれ、追加はございませんか。なければ、ご意見はこれにて終結します。

国語は、集計の結果点数が9点と最も高かった光村図書出版を採択候補として選定したいと思いますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

〔米田教育長〕

異議なしとのことですので、国語については、光村図書出版を採択候補といたします。

〔米田教育長〕

書写については、光村図書出版9点、教育出版1点となりました。各委員さんからのご意見を承ります。

〔濱屋委員〕

私は光村図書が良いと思いました。まず、国語の教科書と連動させた学習ができます。また、筆使いや書く姿勢などについて、動画のコンテンツが用意されていることも良い点だと考えます。全体の構成が見やすく学習の手順が丁寧に説明されているので、見通しをもった学習を進められる教科書であると思いました。以上です。

〔真野委員〕

私は全ての教科書について調査研究してみましたけれども、1者に絞りきれませんでした。それぞれの特徴や良さがありましたので、光村図書と教育出版に各々1点ずつ入れさせていただきました。

はじめに光村図書ですが、先ほどもありましたように、国語で学んだ教材を取り上げているという観点、国語教科と連動すれば深い学びにつながるのではないかなと、そう判断いたしました。

次に教育出版ですが、筆の入れ方に関する説明が丁寧である点、また、「レッツトライ」というコーナーがあるんですけれども、そのコーナーを通して学んだことを生活や他の教科、活動へ生かす視点がすぐれていると判断いたしました。以上です。

〔西田委員〕

私は光村図書が良いと思いました。まず、学習の進め方がわかりやすいことです。見開きで学習が組み立てられていて、書き方のポイントと学習の流れが示されています。筆使いなどの指導では、子供が親しみやすいネコなどのイラストを使うなど工夫されており、書写特有の言葉もページごとにわかりやすく説明されています。また、基本的な事柄、例えば書くときの姿勢、鉛筆や筆の持ち方、筆使い、筆順、点画などが学年ごとにわかりやすく丁寧に書かれています。また、繰り返し取り上げて定着につながっています。また、書いた文字を友達と確かめ合う写真が載っていて、対話をしながら学びを深めていく様子が示されています。また、毛筆の学習の後には、必ず硬筆による練習問題が載っていて、毛筆による学習が硬筆に生かせるようになっています。さらには、6学年の巻末には「書写ブック」があり、六年間に学習したことが日常生活に生かされるようになっています。

他者もよく工夫されていてすぐれた教科書だと思いましたが、いろいろ検討して光村図書に決めました。

〔高木委員〕

私は光村図書が良いと思います。学習の進め方や書くときの姿勢等が各学年の冒頭で示されているのでわかりやすいこと。6年生の「書写ブック」で、1年生から6年生で学んだ手紙やはがきの表書きの書き方、新聞やポスターの作り方の工夫など、日常生活で生かすための整理がされていて使いやすいくと感じること、以上であります。

〔米田教育長〕

私は光村図書が良いと考えました。まず、書くときのポイントや基礎・基本が丁寧に書かれている教科書だということです。それから、「たいせつ」というコーナーがあるんですけれども、そこには文字を書くときのポイントがとても子供がイメージしやすい形で記載をされています。またあわせて、私は国語は光村図書を推薦いたしましたので、国語の時間に出会った文章や言葉が、書写のときにもう一度自分のものとして書くことができるという、そういう学習が深まっていくという、そこにも着目いたしました。また、西田委員もお話をされました「書写ブック」というものが、1年生から6年生まで学習したことのポイントがコンパクトにわかりやすく載っている。そして日常生活の中でどうこれを生かしていったらいいかということもしっかり載っている、そういう点で私は光村図書が良いと思いました。

〔米田教育長〕

他に発言もれ、追加はございませんか。なければ、ご意見はこれにて終結します。

書写は、集計の結果点数が9点と最も高かった光村図書出版を採択候補として選定したいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[米田教育長]

異議なしとのことですので、書写については、光村図書出版を採択候補といたします。

[米田教育長]

社会です。社会については教育出版が10点となりました。各委員さんからのご意見を承ります。

[濱屋委員]

私は教育出版が良いと思いました。学習の進め方が、「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」の四つの段階にまとめられています。つかむ段階では疑問をもとに学習課題をつくり、予想を立てて学習計画を考えるなど、場面に応じた学習ができるように構成されています。また、調べたりまとめたりする段階で、時期や変化、場所や広がり、工夫や関わり、など着目する視点が明示されていることも子供たちの社会的な見方や考え方を育てることにつながると感じました。

[真野委員]

私は教育出版が良いと判断いたしました。理由は三点ほどあります。

一点目は、教科書に書かれている問いが大枠的で流れがわかりやすく、子供たちに合わせて問いを深めていくことができる、こう判断いたしました。二点目は、子供視点の写真が多く、子供視点で調べる内容が充実しているなど、学びを深めるよう配慮されていると感じました。三点目、「まとめる」では、自分たちには何ができるのかを話し合う視点が考慮されているという点がすぐれていると判断いたしました。以上です。

[西田委員]

私は教育出版が良いと思いました。濱屋委員がおっしゃいましたように、「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」の場面を繰り返しながら学習が進められています。また、单元ごとに、みんなでつくった学習問題と学習計画の作り方や調べ方が載っています。子供たちが主体的に問題を解決していく学習ができるように丁寧につくられていると感じました。社会科は課題を追及したり解決したりする活動を通して、公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指していますので、その目標に叶った教科書だと思いました。

また、学年のはじめに社会科の進め方のモデル図があり、中学年では活動の流れが簡潔に書かれていて学習の進め方がわかりやすいと感じました。次に、写真や絵、地図、グラフなどが豊富で色彩も豊かです。子供たちが共感をもって理解したり話し合いを深めたりするのに有効な資料だと思いました。また今日的課題も丁寧に取り上げられており、教育出版を選びたいと思いました。

[高木委員]

私も教育出版が良いと思います。社会科は3年生から始まりますけれども、1、2年生の生活を振り返りながら社会科に入っていくための方法が丁寧に詳しく書かれているのでわかりやすいこと。それから、みんなが疑問に思ったことや知りたいことでつくった、「みんなでつくった学習問題」を起点として、主体的な学習を進めることができるので良いこと。そして随所に「学習のてびき」があり、そこでの解説や発問により学習の視点の広がりが期待できて良いこと、以上であります。

〔米田教育長〕

私は教育出版が良いと思いました。冒頭に、「この時間の問い」ということがしっかりと書かれています。このことによって学習活動が焦点化をされます。そして最後には、「次につなげよう」ということで、次に向かう問いが生れて次の時間へのわくわく感で終わることができる、このように学習をスムーズに進めることができるそういう教科書だと思いました。それから、「学びのてびき」がとても充実している点に着目をいたしました。例えば6年生の「学習問題をつくる」では、まず、世の中のことに目を向けよう。次には、きいた話や読み取った資料からわかったことを、自分や友達の体験とつなげて話し合おう。次に、出された意見を整理してまとめ、みんなで追究していく学習問題をつくろう、こう進みます。私たちが3次構想で目指している、自分たちで考え語り合いながら生み出す学び合いと活動へ、このことが具現化できる、そういう教科書だと考えました。

〔米田教育長〕

他に発言もれ、追加はございませんか。なければ、ご意見はこれにて終結します。

社会は、集計の結果点数が10点と最も高かった教育出版を採択候補として選定したいと思いますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

〔米田教育長〕

異議なしとのことですので、社会については、教育出版を採択候補といたします。

〔米田教育長〕

地図については、帝国書院が10点となりました。委員さんからのご意見を承ります。

〔濱屋委員〕

私は帝国書院が良いと思いました。初めて地図を使う3年生でもわかりやすいように、地図の基本的な見方や地図帳の使い方が丁寧に説明されています。また、資料も豊富に掲載されています。資料の中には日本で起こる様々な自然災害の模式図や防災マップづくりが掲載されているので、子供たちの自然災害に対する理解を深めたり、身を守るために何ができるかを考える上でも有用だと思いました。色合いも落ち着いているので見やすく利用しやすい地図帳であると思いました。以上です。

〔真野委員〕

私は帝国書院が良いと判断いたしました。理由としては、三点ですぐれていると判断しました。

一点目は、初めて地図帳を手にする子供たちに親しみをもってもらえるよう、見やすく、わかりやすいなどの工夫がされていると思います。二点目は、日野市また東京都のこの多摩地方の詳細な地図も掲載されており、活用しやすいと思います。三点目は、教科書の重さが軽く、持ち運びも便利だと思います。以上です。

〔西田委員〕

私は帝国書院が良いと思いました。初めて地図帳を使う3年生に十分配慮されており、学習の進んだ学年にも資料が豊富で知的好奇心を十分満足させるものと思いました。見やすく、わかりやすく、楽しく、気楽にページを開ける地図帳だと思います。

二つ目は、色調がおだやかで軽く、どの子にとっても扱いやすいと思いました。東京都

全体の大きなページがあります。日野市の位置がよくわかり、浅川や多摩川、多摩動物公園のコアラや高幡不動が載っていて、日野の子供には親しみやすいと思いました。三つ目は、日本の自然災害と防災が4ページにわたって記載されています。また、日本の領土について2ページにわたって記載されています。これらを考え合わせて、帝国書院を選びました。

〔高木委員〕

私も帝国書院が良いと思います。地図や資料数は豊富でわかりやすく、色合いが良く、見やすいことであります。そして東京都全体の地図があり、東京都の中での日野市の位置付けが理解しやすい構成になっていること、以上であります。

〔米田教育長〕

私も帝国書院が良いと考えました。まずこの地図帳の中では、小学校3年生のりくさんと、小学校6年生のななみさんが地図帳を見るとき大切なポイントを一緒に確認をしています。つまり、3年生の視点、6年生の視点、両方の視点で、この地図帳はとても使いやすくできています。そしてもう一つは、スパロウ先生が地図帳の詳しい使い方を紹介しています。また、地図って何だろう、地図のやくそく、地図帳の使い方を丁寧に記載されていて、安心して小学校3年生から6年生まで使える地図帳だと考えました。それから、資料がとても豊富でとても見やすいということに着目いたしました。私は帝国書院が良いと考えました。

〔米田教育長〕

他に発言もれ、追加はございませんか。なければ、ご意見はこれにて終結します。

地図は、集計の結果点数が10点と最も高かった帝国書院を採択候補として選定したいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

〔米田教育長〕

異議なしとのことですので、地図については、帝国書院を採択候補といたします。

〔米田教育長〕

算数については、東京書籍が10点となりました。各委員さんからご意見を承ります。

〔濱屋委員〕

私は東京書籍が良いと思います。一つ目の理由は、数学的な活動がイラストや図や写真などを用いて視覚的にわかるように示されていることです。二つ目は、ノートづくり方が大きく例示されていることです。自分の考えと友達の考えを比較したり、まとめることで数学的な見方・考え方を振り返ることができます。また児童の理解に応じた教材も豊富であり、基礎的・基本的な定着を図る補充問題から発展的なチャレンジ問題まで取り上げられている点も良いと思いました。

〔真野委員〕

私は東京書籍が良いと判断いたしました。以下の三点の理由によります。

一点目は、学習の筋道が論理的でわかりやすく表現されており、ノートづくり方も例示しているため理解が深まると判断いたしました。二点目は、学んだことを日常に生かす視点も含まれていまして、学ぶ喜びを増すことができると判断しました。三点目は、1年

生の教科書についてです。二分冊の一冊目は教科書サイズも大きく利用しやすい配慮がされていると思いました。以上です。

〔西田委員〕

私も東京書籍が良いと思いました。まず、2学年から上巻には目次が、続いて「学びのとびら」があり、算数の学習の進め方やマイノートの書き方、教科書の構成などが掲載されていて、算数をどのように学習していくのか、指導者にも子供にも保護者にもわかりやすいと思いました。次に導入では、子供に親しみやすい品や日常の生活の場面を取り上げています。単元末でも、「いかしてみよう」を設定して、学んだことが日常の生活で活用できるようになっています。また、キャラクターの吹き出しが子供の思考を無理なく引き出しているように思いました。また、1年の上では、直接書き込めるようになっていて、楽しい絵もふんだんに使われています。

算数の学習に抵抗をもつことがないよう工夫されていると思いました。学年を通して教科書全体に記号が多いので子供はどう感じるかと思いましたが、慣れれば問題ないのかと考えて東京書籍に決めました。

〔高木委員〕

私も東京書籍が良いと思います。まず、説明のイラストや図表等が見やすくてわかりやすいこと。そして2年生から数直線の概念を取り入れて数量関係の理解を系統的に進めていること。三つ目として、各学年ごとに冒頭の「学びのとびら」で学習の進め方やマイノートのつくり方が発達段階に応じて指導がされていて具体的でわかりやすいこと、以上であります。

〔米田教育長〕

私も東京書籍が良いと考えました。まず学習の進め方ですが、きょうの問題、学習のめあて、考えるときの手がかり、大切な見方や考え方、学習のまとめ、練習問題と、非常にわかりやすく、目で見ても理解が進んでいく教科書ということです。そして、とても丁寧な記述が記載されているというところです。また、各委員さんからお話がありましたように、マイノートをつくろうというコーナーでは、ノートの書き方をわかりやすく、とても大きく見せている、子供が安心して学んでいける教科書だと考えました。もう一つです。

「つないでいこう算数の目」のコーナーでは、算数的な活動のための着眼の視点が記載されていて、その視点が広がっていく楽しさが味わえるということです。

第3次構想が目指している、ひとり一人が自分の目標に向かって自分に合った学び方をしていくためには、とても適した良い教科書だと私は考えました。

〔米田教育長〕

他に発言もれ、追加はございませんか。なければ、ご意見はこれにて終結します。

算数は、集計の結果点数が10点と最も高かった東京書籍を採択候補として選定したいと思いますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

〔米田教育長〕

異議なしとのことですので、算数については、東京書籍を採択候補といたします。

〔米田教育長〕

理科については、大日本図書が10点となりました。各委員さんからのご意見を承ります。

〔濱屋委員〕

私は大日本図書が良いと思いました。各学年のはじめに理科の学び方が示されています。問題を見つけ、予想し、調べるための計画を立て、観察や実験を通して明らかになった結果をもとに考察を加え、まとめる活動が提示されています。その過程を繰り返したどの学習を通して、科学的な見方や考え方を養うことができると思いました。また、単元末にある「学んだことをいかそう」や「りかのたまてばこ」では、学んだ知識と身近な経験との関わりを考える問題が取り上げられており、子供たちの理科への関心を高めることができると思いました。以上です。

〔真野委員〕

私は大日本図書が良いと判断いたしました。以下の3点の理由を述べたいと思います。

一点目は、結果のあとに考察のステップがあり、主体的・対話的な学びにつながる工夫がされていると判断いたしました。二点目は、「土地のつくりと変化」という単元のところで、例えば、写真に子供が一緒に写っています。大きさを把握できる、また子供の気付きを促す配慮がされていると判断いたしました。三点目、新たに追加されました「音の伝わり方と大小」の単元では、身近な教材から取り上げ、また、定量的に学習できるよう工夫されている点がすぐれていると判断いたしました。

〔西田委員〕

私は大日本図書を選びました。まず一つ目です。この教科書で学べば、理科が好きな子供や生涯にわたって理科に興味や関心を持ち続ける子供が育つのではないかと思います。例えば、問題を解決していく学習過程がわかりやすいです。実験や観察をしている子供の様子や表情がとてもよくて、自分も早くやってみたいと心がはやるに違いないと思いました。昆虫や植物、大自然などの写真などが美しくまた精密で、自然の不思議さや、もっと探究してみたいという気持ちを高めると思いました。また子供たちが計画を立て合ったり、結果から言えることを話し合ったりしている写真が随所に掲載されていて、理科の学習は友達と協力し合いながら進める楽しい学習であることがわかると思います。

二つ目は、学習の流れが丁寧に書かれているので指導しやすく、児童も学習しやすい教科書だと思いました。また、その学年の学習で特に大切なところに星印があり、話し合いの仕方も載っています。簡潔で理解しやすい注意事項が随所にあるのも良いと思いました。

三つ目は、日野市の多摩動物公園や日ごろ見ている浅川と多摩川、かつて生活の中にあつたカイコ、また日野の学校でも作っている緑のカーテンなどが掲載されていますので、日野の子供にも親しみやすい教科書だと思いました。以上のことから、大日本図書を選びました。

〔高木委員〕

私も大日本図書が良いと思います。各学年の2、3ページに目次と併せて理科の学び方の説明があり、各学年での大切な事項も明記されており、児童が段階を追って理科の学び方を身に付けていくことができること。また、話し合いながら学習を進めていくしくみが組み込まれていて良いことであります。また、大きくきれいな写真やわかりやすいイラスト

トなど丁寧な資料が豊富で、理科を楽しく学べることであります。そして各学年で「理科のノートの書き方」が掲載されていて、また、児童の書いたノートのページが随所に数多くあり、子供たち自身が学習を進めやすいこと、以上です。

[米田教育長]

私も大日本図書が良いと考えました。まず、わかりやすい大きな写真や絵で、みんなが楽しく理解できていく、そんな教科書であるという点です。それから学習の進め方も、まず問題を見つける、予想、どのように調べればいいのか計画をする、そして結果、考察、結論と、教科書が全てこのフレームで、この順番で構成をされていて、子供たちにとって安心して理科的な活動にチャレンジができる教科書だと思いました。特にこの大日本図書では、考察の部分、結果から言えることをみんな話し合おうという、そういう活動を重視しております。私たちの第3次構想の、疑問やおどろきから生まれる問いを大切にしたい、自分たちなりの方法で、自分たちなりの答えにたどりつくその過程を大切にする、このことが具現化できる教科書だと考えます。

また、「TRY！深めよう」、「りかのたまてばこ」のコーナーでは、さらに興味や関心が深まっていく、そして「サイエンスワールド」では発展的な世界に出会えるということ、あわせて、安全のための注意が極めて丁寧にはつきと書かれているという、そういうところにも着目いたしました。この点から私は大日本図書が良いと考えました。

[米田教育長]

他に発言もれ、追加はございませんか。なければ、ご意見はこれにて終結します。

理科は、集計の結果点数が10点と最も高かった大日本図書を採択候補として選定したいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[米田教育長]

異議なしとのことですので、理科については、大日本図書を採択候補といたします。

[米田教育長]

生活については、東京書籍が7点、学校図書が3点となりました。委員さんからのご意見を承ります。

[濱屋委員]

私は東京書籍が良いと思います。一つ目の理由は、大判サイズで見やすいということです。二つ目は、吹き出しに子供たちに育てたい資質や能力が提示されていることです。子供たちにとっても考えるヒントになると思いました。三つ目は、巻末に「かつどうべんりてちょう」があり、いろいろな試し方や工夫の仕方、伝え方など、技能や学び方を身に付けるのに役立つ例示があることです。子供たちが自然や身近な出来事との関わりの中で、問いをもったり、知りたいと思う気持ちを育てることができる構成になっていると思いました。以上です。

[真野委員]

私は東京書籍が良いと判断しました。大きく二点ほどあります。

一点目は、教科書サイズが大きいことを生かして写真を配置し、子供の吹き出しも子供らしい表現になっており、気付きを与えることができると判断しました。二点目は、子供

たちの様々な生い立ちにも配慮をして、大きくなって何ができるようになったのかの視点を取り上げている点を評価しました。以上です。

〔西田委員〕

私は学校図書が良いと思いました。学校図書は特に命を育てる活動と体験が充実しているからです。例えば上の「わたしの あさがお」では、種を選び、自分で土を鉢に入れて種をまき、その鉢の置き場を考えます。発芽に喜び、次々花が咲くのに驚き、種がたくさんできたことを知り、土の中で根がびっしり張っていることに気づいて、根に、ありがとうと言っています。下の「わたしたちの 野さいばたけ」では、朝顔を育てる活動をさらに発展させて、自分たちで苗屋さんに行って苗を選び、土づくりをします。子供たちが土づくりをしている力強い写真が見開きで掲載されています。土の中に幼虫などの生き物を見つけて、土の中に命があることを知ります。また、豊かな土がおいしい野菜を豊かに実らせることも学びます。これらは日野の学校でなら、できる活動です。日野の子供に土づくりを体験させたい、そしておいしい野菜を作らせたい、そういう気持ちからです。

次に、「むし だいすき」では、虫を探して観察したら、飼えない虫は見つけた場所に返します。下の生きものと友達では、昆虫がどうしたら喜ぶかを子供たちが考え、それについて調べます。ダンゴムシにまるちゃんと名付けて観察記録をつけながら大切に育てます。そのマルちゃんが赤ちゃんを産みました。喜んだ子供たちは、ありがとうと言いながらマルちゃんを元の所に放しています。これらの命の活動を丁寧に伝えていると思いました。日野市では大人も子供も一緒に命の取組みを進めています。また、第3次学校教育基本構想で求める子供たち自らが育んでいってほしい力は「すべての“いのち”がよろこびあれる未来をつくっていく力」です。命の不思議さや命を育てる喜びを日野の子供たちに体験させたいと思っています。

また、スタートカリキュラムもイラストと短い文で構成されていて、新1年生が安心して登校できるようになっています。これらを考えて、学校図書を使いたいと思いました。

〔高木委員〕

私は東京書籍が良いと思います。これまでもありましたけれども、判が大きいので写真やイラストが大きく見やすいことです。それから上巻の「きれいにさいてね」という單元では花の種をまくところから始まりますが、花の種、花、双葉、つぼみ、種ができた様子等が、紙面構成が工夫され連続的に見ることができ、わかりやすいことであります。児童の作成した観察記録や計画書などが多く掲載されていて学習を進める上でわかりやすいこと、そして地域の人との関わりを取り上げた箇所が多いということで、第3次日野市学校教育基本構想との関係で望ましいこと、以上であります。

〔米田教育長〕

私は東京書籍と学校図書が良いと考えました。この2者とも子供のみずみずしい素直な感覚をととても大切にしている教科書だということです。

まずそれに加えてですけれども東京書籍です。その下では、「もっと なかよし まちたんけん」では、子供たちがまず和菓子屋さんに行って作っているところを見せてもらうんですね。子供たちはそのときに、今度は作っている人に直接話を聞いてみたくなって、また数日後にお店にお伺いするんです。そしてどらやきを作っている人から直接話を聞きます。

その中では、季節に合わせて8種類のどらやきを作っているということ、そして季節に合わせて味を変えると、まちの人たちが喜んでくれて、たくさんどらやきを食べてもらえる、そういううれしさの中でそのどらやき作りをしているという、そういうまちの人に出会います。さらにいろんなことを聞いていくわけですが、私たちが3次構想で目指している、地域の人と出会いながら、感じ、考え、地域と結びつきながら活動を展開します、このことを小学2年生の段階から実感するととてもいい教科書だと思いました。

次は学校図書です。学校図書の「わたしたちの野さいばたけ」という単位では、まず土づくりから始めます。「ふかふかの土にするよ」というそこから始めて、そして野菜を育てていくと虫がついてくる。その虫の対応だとか、こういう命の自然の営みをたくさん、たくさん感じて、そして野菜づくりを丁寧に進めていきます。まずは命の活動を支える土をととても大事にしているところから始めているその姿勢、西田委員もお話をされました日野市の一番目指すところは、すべての“いのち”がよろこびあふれる未来をつくっていく、その力を子供たち自らが育んでいくんだと、その一番の原体験を土、草花、虫、野菜など、とても丁寧に扱っている、そういう意味でこの教科書もいいと考えました。

いろいろ悩みましたけれども、この2つの教科書、両方とも甲乙つけ難く、両方とも私はいいいと思いますので、1点ずつ入れました。

〔米田教育長〕

他に発言もれ、追加はございませんか。なければ、ご意見はこれにて終結します。

生活は、集計の結果点数が7点と最も高かった東京書籍を採択候補として選定したいと思いますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

〔米田教育長〕

異議なしとのことです。生活については、東京書籍を採択候補といたします。

〔米田教育長〕

ではここで、少し休憩をとりたいと思います。あの後ろの時計で15分まで休憩をとります。どうぞ水分補給をゆっくりして、休憩をしていただければと思います。傍聴の方もどうぞ水分補給していただければと思います。

休憩 15時08分

開始 15時15分

〔米田教育長〕

それでは再開いたします。

音楽については、教育芸術社が10点となりました。委員さんからのご意見を承ります。

〔濱屋委員〕

私は教育芸術社が良いと思いました。各ページで何をねらって学習するのかがわかりやすく説明されているので、子供たちは目的意識をもって学習に取り組むことができます。また巻頭には1年間で学ぶ内容をイラストで表現した「音楽の木」があり、歌うこと、きくこと、演奏すること、つくることについての具体的な目標が見えてきます。

また、6年生の教科書では、ブラインドサッカーをテーマにして音の働きや役割について触れているコラムや、音楽の歴史をつくった人の紹介などもあり、音楽の学びが広がっ

ていく点が良いと考えました。

〔真野委員〕

私は教育芸術社が良いと判断しました。以下の二点の理由によります。

一点目は、新学習指導要領に基づいて単元ごとにねらいや目指すことが記述されており、先生も子供たちも見通しをもって学習に取り組むことができると判断しました。二点目は、巻末の振り返りがコンパクトによくまとまっている点です。以上です。

〔西田委員〕

私は教育芸術社が良いと思いました。まず、学習のはじめに1年間どんな学習をするか示されているので、児童が見通しをもって学習できます。目次には単元のねらいが記載されており、学習ごとにめあてが表記されています。教師にも児童にもわかりやすい教科書だと思いました。次に、新しく覚えることがはっきり書かれていて、その学年に必要な知識を身に付けやすいと思いました。三つ目は、「みんなで楽しく」では、4学年に「ごんきつね」が載っています。「ごんぎつね」の文学作品はどの会社の国語教科書にも4学年に載っていますので、国語の学習を生かして良い表現活動ができると思います。同じく4学年には「いのちのオーケストラ」が、6学年には「いのちの歌」が載っています。先ほどの「生活」でも述べましたが、命は日野市の教育の軸になっています。子供たちに心を込めて歌ってほしいと思いました。

〔高木委員〕

私も教育芸術社が良いと思います。各学年で冒頭に「音楽の木」のページがあり、1年間でどのような学習をするのかが示されていて児童が何を学習するのかがわかりやすいこと、目次では学習指導要領の文言で単元のねらいが記載されており、わかりやすいこと、「みんなで楽しく」と発展補充の教材が豊富で児童の実態に合わせて選択しやすいこと、以上であります。

〔米田教育長〕

私も教育芸術社が良いと考えました。まず、学習のねらいが子供たちにわかりやすくはっきりと書かれているということです。それから、発表し合ったり話し合ったりして、気づいたことや感じ取ったことを伝え合う活動をととても大事にしているということです。この二つがベースになって子供たちと教師が一緒になって音楽活動をつくり上げていく、そういうことができる教科書だと考えました。

〔米田教育長〕

他に発言もれ、追加はございませんか。なければ、ご意見はこれにて終結します。

音楽は、集計の結果点数が10点と最も高かった教育芸術社を採択候補として選定したいと思いますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

〔米田教育長〕

異議なしとのことですので、音楽については、教育芸術社を採択候補といたします。

〔米田教育長〕

図画工作については、日本文教出版が10点となりました。各委員さんからのご意見を承ります。

〔濱屋委員〕

私は日本文教出版が良いと思いました。活動している子供たちの表情が生き生きとしていて活動への興味や関心が高まります。また、吹き出しの児童の言葉が活動のヒントになっており、やってみたいという気持ちを引き出すことができると思いました。想像力にあふれた児童の作品が数多く記載されているので、作品の鑑賞と対話を通して創造する喜びを味わうことができると思いました。以上です。

〔真野委員〕

私は日本文教出版が良いと判断しました。以下の二点の理由によります。

一点目は、掲載している写真に写っている子供たちの表情がとても豊かで、吹き出しの言葉も子供目線で書かれているので、教材を身近に感じる点です。二点目は、子供たちの作品が多く掲載されており、子供たちの発想を膨らませるためのヒントが豊富にあると判断した点です。以上です。

〔西田委員〕

私は日本文教出版が良いと思いました。まず、児童の作品と児童が活動する写真がとても多いことです。作品は形も材料も大きさも様々で、それぞれ発想が豊かで個性があふれています。活動する子供の姿や表情は真剣であったり、いかにも楽しそうであったり様々です。これらの作品や子供の姿にふれた子供たちは心を強く動かし様々なイメージが浮かんで来て、すぐに取り組みたくなると思いました。

二つ目は、題材ごとに資質・能力の3つの柱に基づいた学習のめあてがわかりやすく書かれています。子供にもわかりやすい言葉なので学習のめあてをよく理解して学習を進めることができると思いました。三つ目は、1、2年の「すなや つちと なかよし」の学習は、先ほどの「生活」の土づくりと関連されて楽しい創造遊びができると思いました。また、「図画工作のつながり ひろがり」のコーナーがあります。5、6年では地域とつながる活動が紹介されています。例えば、古い家屋を保存している施設で、施設の人にも手伝ってもらいながら中学生と一緒に作品をつくったり、同じ地域で暮らす大学生と一緒に未来のまちについて考え話し合いながら作品をつくったりする活動です。第3次基本構想では地域の人と出会いながら、感じ、考え、地域と結びつきながら活動を展開することを目指していますので、ここに理想とする活動が期待できると思いました。

〔高木委員〕

私も日本文教出版が良いと思います。各単元で学習のめあてが具体的に書かれているのでわかりやすいこと、掲載されている児童の作品や活動中の写真等が豊富であり、写真の吹き出しのせりふからも学習の楽しさが伝わってくること、「きをつけよう」、「かたづけよう」のコーナーで安全面等へ考慮した構成であること、以上であります。

〔米田教育長〕

私も図画工作は日本文教出版が良いと考えました。子供たちの生き生きした作品がたくさん載っていて、子供たち発のわくわくが伝わってくる教科書だと思います。まずは感じることや創造することを大切にしながら、形や色を使って自分や社会、自然を見つめて考え、表わすことを通して新しい自分の気持ちや思いを見つけていける、そんな教科書だと思います。また、吹き出しやコメントも、子供たちのこの活動を支援していく内容になっ

ています。また、各見開きの最後の右下に活動のあとのふり回りコーナーにもたくさんの気付きに出会える、とてもいいコーナーだと考えます。第3次構想が目指す自分に安心して感じたことを自分として表現をして、そしてその中でまず自分を感じて、そして他者を感じて、みんなでわくわくしながら新しい世界をつくりだしていく、そういう教科書だと考えました。

〔米田教育長〕

他に発言もれ、追加はございませんか。なければ、ご意見はこれにて終結します。

図画工作は、集計の結果点数が10点と最も高かった日本文教出版を採択候補として選定したいと思いますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

〔米田教育長〕

異議なしとのことですので、図画工作については、日本文教出版を採択候補といたします。

〔米田教育長〕

家庭については、集計の結果、東京書籍が7点、開隆堂が3点でございます。各委員さんからのご意見を承ります。

〔濱屋委員〕

私は東京書籍が良いと思いました。全ての題材の導入にめあてと学習の流れが示されていて、学習の見通しがもてるように工夫されています。また巻頭のガイダンスのページでは、よりよい生活を目指す上で取り組む15のテーマが示してあり、全体の構成を理解しやすくなっています。各テーマについて課題と、課題解決のための実践活動、評価・改善の3つのステップで展開されているので課題解決的な思考を育てることができる点が良いと考えました。

〔真野委員〕

私は両者の教科書を読ませていただきましたが、それぞれ特徴や良さがあって、私は東京書籍と開隆堂に1点ずつの配点をさせていただきました。

最初に東京書籍です。教科書サイズの大きさを有効に生かして料理方法などがステップ分けをして丁寧に書かれている点、裁縫の縫い方の説明、また、持続可能な暮らしの観点が豊富などの点ですぐれていると判断いたしました。

次に開隆堂です。出汁の取り方など料理の基本により忠実な点、また、郷土料理を取り上げている点など、これらは生活に結びつく大切な観点であると、このように判断をいたしまして1点を配点いたしました。以上です。

〔西田委員〕

私は東京書籍を選びました。実は大変迷いました。開隆堂は、学習のはじめに学習や観察、調査などの活動を通して学んだことを実際の生活に生かせることを目指しています。

「支えられている自分から、できるようになる自分へ伸ばしていこう」と書いています。確かに「クッキング はじめの一步」を見ますと、いもと青菜のゆで方、火加減、包丁とまな板の扱い方、あとかたづけの仕方、ごみの始末などが丁寧に表記されています。「ソーイング はじめの一步」では、例えばボタンのつけ方も写真と説明で丁寧にとてもわかりやす

いです。ふり返りのチェックでも基本が身に付いたか確かめています。家庭科の目標1の日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技術を身に付けるようにするを重視した学習が進められ、子供の自立した生活を目指しているのだと思いました。最近家庭の中で家族から生活に関わる細かい技術や知識を教わる機会が少ないです。家庭科で学習したことがその後の生活に役立つ貴重な財産だと思います。また、家庭科の指導を担当が当たる学校が多いことを考えると、現状に叶う教科書だと思います。

一方、東京書籍では、はじめに「家庭科はあなたの生活をより良く変えていく教科です」と書かれています。学習が、課題発見、課題解決、実践、評価・改善の流れで進められています。この学習の流れは日野市が学ぶプロジェクトで追及してきた学びです。また新学習指導要領では、新たに家族、家庭生活についての課題と実践が加わりました。題材「生活をかえるチャンス！」では、その学習の具体的な実践が示されていて、子供たちは様々なイメージを持つことができ実践につながっています。日野の子供たちが学校や家庭、地域の中からどんな課題を見つけてそれぞれの課題の解決に届いているか、良い学習ができると思いました。また、日野市の第3次基本構想が求める楽しい多様な学びが期待できます。家庭科の学習例の導入も無理がないこと、学習の筋道がわかりやすいことなどを考え合わせて、迷いましたが東京書籍に決めました。

〔高木委員〕

私も東京書籍が良いと思います。各単元の「家庭科の窓」に、生活をみつめるときの見方や考え方が示されており、より視点が明確になること、各單元ごとに示された学習の流れで学習の進め方や状況が理解しやすいこと、A4判とサイズが大きいので各種の情報が豊富であり見やすいこと、以上であります。

〔米田教育長〕

私は開隆堂が良いと思いました。開隆堂の教科書では、日本の文化や風土が伝え育んできた暮らしの大切なものをととてもとても丁寧に扱っているということです。例えば、出汁です。煮干し、こんぶ、かつおぶし、干しいたけ、きちんと載っています。そのそれぞれから取っただしを、飲み比べてみようというコーナーがあります。子供たちはそれぞれのだしの本質にそこで出会うことになります。きっと子供たちは今度は合わせだしを始めると思います。このだしとこのだしを合わせるとどんな味なのかな。日本の一番基本のところは、こんぶを浸して、沸騰寸前にこんぶを取り出して、そしてそこにかつお節を入れるというそういう合わせだしが基本ですけれども、そういう日本の文化といいますか和食の文化が丁寧に書かれているということです。それから例えばですけれども、各地に伝わる味噌や味噌料理、各地域のおやつ、各地のお雑煮とか、いろんな地域、地域の風土の生んだ食について丁寧に伝えていきます。

それから、やってみよう「地域の関わりプロジェクト」というコーナーがあります。ここでは自分と地域の関わりをふり返りながら、地域の中で自分ができることはどのようなことだろうとまず計画を立てて、そして実行するという、そういうコーナーです。3次構想が目指す、地域の人たちと出会いながら、感じ、考え、地域と結びつき合いながら活動を展開しますというこのことにもきちんと触れている教科書と思いました。以上から、私は開隆堂が良いと考えました。

[米田教育長]

他に発言もれ、追加はございませんか。なければ、ご意見はこれにて終結します。

家庭は、集計の結果点数が7点と最も高かった東京書籍を採択候補として選定したいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[米田教育長]

異議なしとのことですので、家庭については、東京書籍を採択候補といたします。

[米田教育長]

保健については、学研教育みらいが10点となりました。委員さんからのご意見を承ります。

[濱屋委員]

私は学研教育みらいが良いと思いました。各単元でめあてと課題が示され、課題の解決に向けて考えたり、調べたり、話し合う構成となっているので、課題解決的な学習ができる点が良いと考えました。また本文の記述も丁寧であり基礎的・基本的な内容が定着を図ることができ、あわせて、子供たちが健康の意味や健康になるためにはどうすればよいかを考え、実践に結びつけることができる教科書であると思いました。

[真野委員]

私は学研教育みらいが良いと判断しました。理由は大きく二点です。一単元を見開きページで扱っているなど、使いやすい配慮がされている点を重視しました。二点目は、がん教育が充実している点です。以上です。

[西田委員]

私は学研教育みらいを選びました。単元のはじめに、ここで学ぶことが示されており、つかむ、考える・調べる、まとめる・深めるの学習の流れが示されています。また話し合う場面や本文、図表、写真、絵などが見開き2ページに収められています。まとめる・深めるでは、実行につなげて書く記述欄があり紙面が充実していると思いました。二つ目は、特に5年の「心の健康」、4年の「体の発育・発達」の単元は子供の成長に合わせて丁寧につくられており、内容も大変充実していると思いました。また、紙面の下のミニ知識は、子供が好んで読むと思います。また、「おうちで」「ちいきで」のマークが学習したことを家庭や地域で実践したり確かめたりする活動を促しています。どうすれば健康にすごせるかを学び合って、学んだことを生活にいかせるよう工夫された教科書だと思ひまして、学研教育みらいを選びました。

[高木委員]

私も学研教育みらいが良いと思います。各単元がA4サイズ見開きで構成されていて、大きくて見やすいこと、各単元ごとに、ここで学ぶが整理されていてわかりやすいこと、「がん」についての記載や、「がん」と喫煙や飲酒の関係をわかりやすく書かれていること、以上であります。

[米田教育長]

私も学研教育みらいが良いと考えました。まず、つかむ、考える・調べる、本文、まとめる・深めるということで授業が進むんですけど、つかむでは、身の回りや普段の生活

をふり返るなどして健康の課題やわからないことに気付くということですね。考える・調べるでは、課題についてより良い解決の方法を考えたり調べたり友達と話し合うということです。そして本文を読んで、大切なことを確認して、そして、まとめる・深めるでは、学習してわかったことや大切だと思ったことをまとめて、友達と教え合ったりクラスみんなで発表したりして自分の生活につなげていくということです。このようにとても焦点化をされて、みんなで共同して学習が展開されている教科書だと考えました。

また、何人かの委員からもお話がありました「がん」のコーナーがとても充実しています。がん検診などで早期に発見され、早期に治療を受けることができれば治る確率も高くなるということを学んでいくということです。日野市に適した教科書だと考えました。

[米田教育長]

他に発言もれ、追加はございませんか。なければ、ご意見はこれにて終結します。

保健は、集計の結果点数が10点と最も高かった学研教育みらいを採択候補として選定したいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[米田教育長]

異議なしとのことですので、保健については、学研教育みらいを採択候補といたします。

[米田教育長]

外国語については、教育出版が10点となりました。委員さんからのご意見を承ります。

[濱屋委員]

私は教育出版の One World Smiles が良いと思いました。現在小学校の英語活動で利用をしている We Can と各単元の流れが同様になっています。映像を見て概要を捉え、聞いて慣れ親しむ活動から発信活動へつなげていく構成になっています。やさしい活動から入ってバランスよく力を育てることができると思いました。また、巻末のワークシートなどの付録も利用しやすく児童がやってみたくなるような教材が用意されています。活動の様子を表現したわかりやすいイラストが使用されているので、無理なく英語に親しむことができる教科書であると思いました。以上です。

[真野委員]

私は教育出版が良いと判断しました。大きく二点ほど理由があります。

一つ目は、基本的な内容がわかりやすくコンパクトにまとめられており、利用しやすく、子供たちの関心度に合わせ広がりをもたせることができるという点ということです。二つ目は、巻末にワークシートがカード化されており、授業の中で活用しやすいよう配慮されている点です。さらにそのカードはミシン目が入っており、活用しやすい配慮もされています。以上です。

[西田委員]

私は教育出版が良いと思いました。5年生の巻頭の Let's Start Together では、学校、家庭、スーパーマーケット、森をテーマにした楽しそうな場面があり、3、4年生の外国語活動でふれてきた語句を復習したり、アルファベットを探したりするふり返りの活動となっています。3、4年の外国語活動との接続を配慮した学習を通して、5年からの英語への期待を高めていると思いました。二つ目は、単元の流れが映像を見て内容を捉える活

動から入り、聞いて慣れ親しむ活動、単元の目的活動へと進んでいるので、どの子にも負担が少ないだろうと思いました。三つ目は、5年には道徳で学習したお話を素材にした読み物が載っています。親しみがあり、内容もわかっているので安心して取り組めると思いました。また、名所名物マップを使った学習も社会科の学習とつなげて進んで取り組み、楽しく活動できるだろうと思いました。絵や写真がたくさん載っており、巻末のカードも学習に役立つだろうと思いました。これらを考え合わせて、教育出版を選びました。

〔高木委員〕

私も教育出版が良いと思います。構成が比較的シンプルで、児童や教員への負担感が少ない教科書であること、付録の教材が児童に扱いやすく、ワークシートが付属していますけれども、楽しみながらワークシートの作成ができると思うこと、そして全体として子どもたちが英語嫌いになりにくい教科書と思うこと、以上であります。

〔米田教育長〕

私も外国語については教育出版が良いと考えました。各委員がお話されたように、楽しみながら英語が伝わっていく喜びで、ますますコミュニケーション活動が楽しくなる、そういう教科書だと思います。私はそこに加えて、先生と子供たちが自分たちでつくっていける、そういう余白が広がっている、そんな教科書だと思います。この教科書に掲載されている活動のあと、それぞれのクラスで子供たちと先生の発想で、さらに外国語活動、コミュニケーション活動をみんなで作っていける、そういう教科書だと考えました。

〔米田教育長〕

他に発言もれ、追加はございませんか。なければ、ご意見はこれにて終結します。

外国語は、集計の結果点数が10点と最も高かった教育出版を採択候補として選定したいと思いますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

〔米田教育長〕

異議なしとのことです。外国語については、教育出版を採択候補といたします。

〔米田教育長〕

道徳については、東京書籍が10点となりました。各委員さんからのご意見を承ります。

〔濱屋委員〕

私は東京書籍が良いと思いました。巻頭に、これから1年で学ぶことがまとめられており、学習指導要領の4つの視点と教材ごとの内容項目が示されているので見通しをもって学習することができます。教材の最後にある問いは精選されていて、その教材のテーマとなっている価値観を考える問いと、自分自身をふり返る問いとなっています。焦点化された問いへの考えを話し合う中で、多様な見方・考え方にふれることができ、子供たち一人ひとりが自分の考えを見つめ直すことができる教科書であると思いました。以上です。

〔真野委員〕

私は東京書籍が良いと判断しました。大きく三点ほど理由を述べたいと思います。

一点目は、各単元の最後に主発問が1問と、自分視点の発問が1問掲載されているだけで子供たちの気づきに合わせ授業を進めることができる点です。二点目は、その自分視点の発問については、自分をふり返り、自分の未来を考え、また、友達の思いに耳を傾け

る時間に結び付けることができると思います。三点目は、授業で使用するノートやプリントは子供たちの実情に合わせ独自に作成しやすい観点を重視し、ノートが添付されておらず発問数が少ない点などを重視しました。以上です。

〔西田委員〕

私は東京書籍を選びました。目次の次に、「道徳の学習を進めるために」があって、1時間の学習の流れが示されています。また「道徳は、心について考え、心をゆたかにしていく時間だよ。思ったことをすなおに話そう」という文章が載っています。話し合いの約束も載っています。続く「道徳の時間が始まるよ」では、いろいろな学習の仕方が絵で示され、「かがやく自分になろう!」という言葉が載っています。道徳の時間はどんな時間なのか、子供にも保護者にもイメージしやすいページだと思いました。

次に、「いじめをしない、許さない心」を育てる教材として、「いじめのない世界へ」が全学年に掲載されています。導入となる扉と2つの話で構成されているので、いじめについてしっかり考え、話し合い、自分の行動につなげていくことができると思いました。次に、挿絵が豊富にあり漫画もあるので子供たちは内容を理解しやすく、また楽しみながら学習を進めることができると思いました。教材の最後にある、考えようでは、テーマに迫る主発問と自分をふり返り行動に結ぶ発問があります。子供が考えを素直に表わし、無理なくふり返ることができるよう、よく工夫された内容だと思いました。いろいろ考え合わせて東京書籍に決めました。

〔高木委員〕

私も東京書籍が良いと思います。学習指導要領で示された4つの視点について、これから一年間で学ぶこととして教材の4つの区分表示がされていて学習内容が理解しやすいこと、教材ごとの発問は2つと数が絞られ、教材そのものに関する発問と自分を振り返る発問の2つが設定されており、考え、議論する学習につながる。情報モラルに関する教材やユニットいじめのない世界の設定などがあり、全体として良い構成の教科書であること、以上です。

〔米田教育長〕

私も東京書籍が良いと考えました。まず、安心して素直に自分に問いかけることができる、そんな教材が揃っている教科書だと私は感じました。大事なことは何か、まず自分に問いかけて、そしてみんなで考え合う、話し合う、そこでいろんな感じ方や見方と出会って、そして新しい自分が生れてくる、自分たちが生れてくる。そして行動へ結び付いていくという、そんな教科書だと考えました。教科書に載っている発問も、考えよう1では、とても大きな主発問が1つあって、そして考えよう2では、自分をふり返り、自分のこれからを考える、そういう活動になっています。子供たちと教師が自分たちの道徳として学び合いができる教科書だと考えました。

〔米田教育長〕

他に発言もれ、追加はございませんか。なければ、ご意見はこれにて終結します。

道徳は、集計の結果点数が10点と最も高かった東京書籍を採択候補として選定したいと思いますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

[米田教育長]

異議なしとのことですので、道徳については、東京書籍を採択候補といたします

[米田教育長]

以上で、協議事項第1号・日野市立小学校教科用図書の選定について、を終了いたします。

ここで議事の都合上、休憩をとります。16時00分から再開します。

休憩15時53分

開始16時00分

[米田教育長]

再開します。議案第19号・日野市立小学校教科用図書の採択について、を議題といたします。事務局より提案理由の説明をお願いします。

○議案第19号 日野市立小学校教科用図書の採択について

[谷川教育部参事]

それでは、先ほどお配りしました議案をご覧ください。

議案第19号・日野市立小学校教科用図書の採択について、審議をお願いいたします。

提案理由でございます。先ほどご協議いただきました結果を踏まえて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条第1項及び第14条、同法施行令第14条第1項及び第15条の規定に基づき、令和2年度に日野市立小学校で使用する教科用図書を採択するものです。

裏面をご覧ください。

小学校教科用図書の種目及び令和2年度使用教科用図書発行者を読み上げさせていただきます。

国語、光村図書出版。書写、光村図書出版。社会、教育出版。地図、帝国書院。算数、東京書籍。理科、大日本図書。生活、東京書籍。音楽、教育芸術社。図画工作、日本文教出版。家庭、東京書籍。保健、学研教育みらい。外国語、教育出版。道徳、東京書籍。

以上でございます。

ご審議のほど、よろしくをお願いいたします。

[米田教育長]

事務局からの説明が終了しました。この件については、先ほど協議いたしましたが、さらにご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。

[米田教育長]

なければご質問、ご意見はこれにて終結いたします。

お諮りします。日野市立小学校教科用図書の採択について、を原案のとおり決することに異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

[米田教育長]

異議なしと認めます。議案第19号は原案のとおり可決されました。

[米田教育長]

ここで、図書の入替を行います。しばらくお待ちください。

[米田教育長]

再開します。協議事項第2号・日野市立中学校教科用図書の選定について、事務局より説明をお願いします。

○協議事項第2号 日野市立中学校教科用図書の選定について

[谷川教育部参事]

議案書57ページをお開きください。

協議事項第2号・日野市立中学校教科用図書の選定について、協議をお願いいたします。

はじめに今年度の採択についてご説明いたします。

中学校においては、令和3年度から新しい学習指導要領に基づいた教科用図書を使用することになります。従いまして、今回は令和2年度、1年間使用する中学校教科用図書を採択するものでございます。

今年度の採択では平成27年度以降、新たに文部科学大臣の検定を経た教科用図書はなかったため、前回の平成26年度検定合格図書のうちから採択を行うことになります。今回の採択に当っては4年間の使用実績を踏まえつつ、平成27年度採択における調査研究の内容等も活用することが可能であることから、前回採択時に用いた調査研究資料等も適宜利用して、採択手続きにかかる調査研究を行ってまいりました。

それでは、これまでの採択事務の経過について、ご説明いたします。

日野市立学校教科用図書採択要綱に基づき、6月10日まで、各学校は教科用図書の調査研究を行い、調査研究報告書を教科ごとに設けられた教科委員会に提出いたしました。教科委員会は、委員長、副委員長、主幹教諭等の4人で構成され、各学校から提出された調査研究報告書をもとに調査研究を行いました。教科委員会は6月11日から7月12日までの期間に開催されました。

続いて、7月12日に教科用図書採択審議会を行いました。この審議会は、校長3名、副校長3名、そして保護者6名の12名によって構成されています。この審議会では教科委員会を代表する形で中学校校長会、教科書採択担当の校長が各教科委員会での調査研究の結果と、現在使用している15種目全ての教科用図書について問題なく使用されていることを報告いたしました。また、教科用図書を実際に読んで内容を確認したり、質問したりするなどして活発な審議が行われました。

7月16日、教科用図書採択審議会は、日野市教育委員会に答申書を提出いたしました。教育委員は、この審議会からの答申書を踏まえ、各学校、各教科委員会、そして審議会が行った調査研究の観点にしたがって全ての教科用図書について調査研究を行いました。これが本日までの採択の経過でございます。

本日の協議事項といたしましては、15種目の教科用図書についてご協議のうえ、1者を採択候補として選定していただきますようお願いいたします。なお、参考資料といたしまして、審議会の答申書、現在使用している教科用図書の一覧を配付いたしました。

ご協議のほど、よろしくお願いいたします。

[米田教育長]

事務局からの説明が終了しました。教育委員会は、7月16日に日野市立学校教科用図書採択審議会より、答申を受けました。その答申書の内容を踏まえ、実際の教科書をもとに調査研究を行ってまいりました。それらを通して本日までに、それぞれの委員が、どの教科用図書を採択の候補とすべきか、判断されたことと思います。そこで、選定の方法はどのようにしたらよろしいでしょうか。

[高木委員]

私たち教育委員も審議会の答申を受けて事前に勉強会等行ってきました。ただいま参事から説明がありましたように、平成27年度に採択して今回再度ということですが、平成27年度の採択以降、新たに文部科学大臣の検定を経た教科用図書はありません。それから、令和3年度からは新しい学習指導要領になるということで、1年後に教科書が大幅に変わるということが予想されています。教科委員会の調査結果から、特に現在使われている教科書に問題点がないということでした。あと1年ということを考えますと、継続性という観点からも、現在使われている教科書を中心に審議をしていったらいいかと考えますが、皆さんいかがでしょうか。

[米田教育長]

ただ今のご意見を踏まえて、確認するという意味で、令和2年度より1年間使用する教科用図書について1種目ずつ協議を行い、採択候補として選定したいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[米田教育長]

異議がないようですので、種目毎に協議いたします。国語から協議します。ご質問・ご意見はございませんか。

[真野委員]

教科委員会が調査研究をした結果、現在使用している教科書を問題なく使用しているという報告がありましたので、光村図書出版を継続して採択候補とすることで良いと思います。

[米田教育長]

他にございませんか。なければ、これにてご質問・ご意見を終結します。現在使用している教科書に異議を唱える意見は出されませんでしたので、国語については「光村図書出版」を採択候補として選定したいのですが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[米田教育長]

異議なしとのことですので、国語については、光村図書出版を採択候補といたします。

[米田教育長]

書写について協議いたします。ご質問・ご意見はございませんか。

[濱屋委員]

教科委員会が調査研究をした結果、現在使用している教科書を問題なく使用していると

いう報告がありましたので、学校図書を継続して採択候補とすることで良いと思います。

[米田教育長]

他にございませんか。なければ、これにて終結します。現在使用している教科書に異議を唱える意見は出されませんでしたので、書写については「学校図書」を採択候補として選定したいのですが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[米田教育長]

異議なしとのことですので、書写については、学校図書を採択候補といたします。

[米田教育長]

社会（地理的分野）について協議いたします。ご質問・ご意見はございませんか。

[西田委員]

教科委員会が調査研究をした結果、現在使用している教科書を問題なく使用しているという報告がありましたので、帝国書院を継続して採択候補とすることで良いと思います。

[米田教育長]

他にございませんか。なければ、これにて終結します。現在使用している教科書に異議を唱える意見は出されませんでしたので、社会（地理的分野）については「帝国書院」を採択候補として選定したいのですが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[米田教育長]

異議なしとのことですので、社会（地理的分野）については、帝国書院を採択候補といたします。

[米田教育長]

社会（歴史的分野）について協議いたします。ご質問・ご意見はございませんか。

[高木委員]

教科委員会が調査研究をした結果、現在使用している教科書を問題なく使用しているという報告がありましたので、東京書籍を継続して採択候補とすることで良いと思います。

[米田教育長]

他にございませんか。なければ、これにて終結します。現在使用している教科書に異議を唱える意見は出されませんでしたので、社会（歴史的分野）については「東京書籍」を採択候補として選定したいのですが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[米田教育長]

異議なしとのことですので、社会（歴史的分野）については、東京書籍を採択候補といたします。

[米田教育長]

社会（公民的分野）について協議いたします。ご質問・ご意見はございませんか。

[真野委員]

教科委員会が調査研究をした結果、現在使用している教科書を問題なく使用しているという報告がありましたので、東京書籍を継続して採択候補とすることで良いと思います。

[米田教育長]

他にございませんか。なければ、これにて終結します。現在使用している教科書に異議を唱える意見は出されませんでしたので、社会（公民的分野）については「東京書籍」を採択候補として選定したいのですが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

[米田教育長]

異議なしとのことですので、社会（公民的分野）については、東京書籍を採択候補といたします。

[米田教育長]

地図について協議いたします。ご質問・ご意見はございませんか。

[濱屋委員]

教科委員会が調査研究をした結果、現在使用している教科書を問題なく使用しているという報告がありましたので、帝国書院を継続して採択候補とすることで良いと思います。

[米田教育長]

他にございませんか。なければ、これにて終結します。現在使用している教科書に異議を唱える意見は出されませんでしたので、地図については「帝国書院」を採択候補として選定したいのですが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

[米田教育長]

異議なしとのことですので、地図については、帝国書院を採択候補といたします。

[米田教育長]

数学について協議いたします。ご質問・ご意見はございませんか。

[西田委員]

教科委員会が調査研究をした結果、現在使用している教科書を問題なく使用しているという報告がありましたので、啓林館を継続して採択候補とすることで良いと思います。

[米田教育長]

他にございませんか。なければ、これにて終結します。現在使用している教科書に異議を唱える意見は出されませんでしたので、数学については「啓林館」を採択候補として選定したいのですが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

[米田教育長]

異議なしとのことですので、数学については、啓林館を採択候補といたします。

[米田教育長]

理科について協議いたします。ご質問・ご意見はございませんか。

[高木委員]

教科委員会が調査研究をした結果、現在使用している教科書を問題なく使用しているという報告がありましたので、大日本図書を継続して採択候補とすることで良いと思います。

[米田教育長]

他にございませんか。なければ、これにて終結します。現在使用している教科書に異議

を唱える意見は出されませんでしたので、理科については「大日本図書」を採択候補として選定したいのですが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

〔米田教育長〕

異議なしとのことですので、理科については、大日本図書を採択候補といたします。

〔米田教育長〕

音楽（一般）について協議いたします。ご質問・ご意見はございませんか。

〔真野委員〕

教科委員会が調査研究をした結果、現在使用している教科書を問題なく使用しているという報告がありましたので、教育芸術社を継続して採択候補とすることで良いと思います。

〔米田教育長〕

他にございませんか。なければ、これにて終結します。現在使用している教科書に異議を唱える意見は出されませんでしたので、音楽（一般）については「教育芸術社」を採択候補として選定したいのですが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

〔米田教育長〕

異議なしとのことですので、音楽（一般）については、教育芸術社を採択候補といたします。

〔米田教育長〕

音楽（器楽）について協議いたします。ご質問・ご意見はございませんか。

〔濱屋委員〕

教科委員会が調査研究をした結果、現在使用している教科書を問題なく使用しているという報告がありましたので、教育芸術社を継続して採択候補とすることで良いと思います。

〔米田教育長〕

他にございませんか。なければ、これにて終結します。現在使用している教科書に異議を唱える意見は出されませんでしたので、音楽（器楽）については「教育芸術社」を採択候補として選定したいのですが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

〔米田教育長〕

異議なしとのことですので、音楽（器楽）については、教育芸術社を採択候補といたします。

〔米田教育長〕

美術について協議いたします。ご質問・ご意見はございませんか。

〔西田委員〕

教科委員会が調査研究をした結果、現在使用している教科書を問題なく使用しているという報告がありましたので、日本文教出版を継続して採択候補とすることで良いと思います。

〔米田教育長〕

他にございませんか。なければ、これにて終結します。現在使用している教科書に異議

を唱える意見は出されませんでしたので、美術については「日本文教出版」を採択候補として選定したいのですが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

〔米田教育長〕

異議なしとのことですので、美術については、日本文教出版を採択候補といたします。

〔米田教育長〕

保健体育について協議いたします。ご質問・ご意見はございませんか。

〔高木委員〕

教科委員会が調査研究をした結果、現在使用している教科書を問題なく使用しているという報告がありましたので、学研教育みらいを継続して採択候補とすることで良いと思います。

〔米田教育長〕

他にございませんか。なければ、これにて終結します。現在使用している教科書に異議を唱える意見は出されませんでしたので、保健体育については「学研教育みらい」を採択候補として選定したいのですが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

〔米田教育長〕

異議なしとのことですので、保健体育については、学研教育みらいを採択候補といたします。

〔米田教育長〕

技術・家庭（技術分野）について協議いたします。ご質問・ご意見はございませんか。

〔真野委員〕

教科委員会が調査研究をした結果、現在使用している教科書を問題なく使用しているという報告がありましたので、開隆堂出版を継続して採択候補とすることで良いと思います。

〔米田教育長〕

他にございませんか。なければ、これにて終結します。現在使用している教科書に異議を唱える意見は出されませんでしたので、技術・家庭（技術分野）については「開隆堂出版」を採択候補として選定したいのですが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

〔米田教育長〕

異議なしとのことですので、技術・家庭（技術分野）については、開隆堂出版を採択候補といたします。

〔米田教育長〕

技術・家庭（家庭分野）について協議いたします。ご質問・ご意見はございませんか。

〔濱屋委員〕

教科委員会が調査研究をした結果、現在使用している教科書を問題なく使用しているという報告がありましたので、東京書籍を継続して採択候補とすることで良いと思います。

〔米田教育長〕

他にございませんか。なければ、これにて終結します。現在使用している教科書に異議

を唱える意見は出されませんでしたので、技術・家庭（家庭分野）については「東京書籍」を採択候補として選定したいのですが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

〔米田教育長〕

異議なしとのことですので、技術・家庭（家庭分野）については、東京書籍を採択候補といたします。

〔米田教育長〕

英語について協議いたします。ご質問・ご意見はございませんか。

〔西田委員〕

教科委員会が調査研究をした結果、現在使用している教科書を問題なく使用しているという報告がありましたので、三省堂を継続して採択候補とすることで良いと思います。

〔米田教育長〕

他にございませんか。なければ、これにて終結します。現在使用している教科書に異議を唱える意見は出されませんでしたので、英語については「三省堂」を採択候補として選定したいのですが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

〔米田教育長〕

異議なしとのことですので、英語については、三省堂を採択候補といたします。

〔米田教育長〕

以上で、協議事項第２号・日野市立中学校教科用図書の選定について、を終了します。

ここで議事の都合上、休憩をとります。１６時２５分から再開します。

休憩 １６時 ２２分

開始 １６時 ２５分

〔米田教育長〕

再開します。議案第２０号・日野市立中学校教科用図書の採択について、を議題といたします。事務局より提案理由の説明をお願いします。

○議案第２０号 日野市立中学校教科用図書の採択について

〔谷川教育部参事〕

それでは、先ほどお配りした議案をご覧ください。

議案第２０号・日野市立中学校教科用図書の採択について、ご説明申し上げます。

提案理由は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２１条第６号、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第１３条第１項及び第１４条、同法施行令第１４条第１項及び第１５条の規定に基づき、令和２年度に日野市立中学校で使用する教科用図書を採択するものでございます。

裏面をご覧ください。

先ほどの協議に基づきまして、教科用図書を種目、令和２年度使用教科用図書発行者の順で読み上げさせていただきます。

国語、光村図書出版。書写、学校図書。社会（地理的分野）、帝国書院。社会（歴史的分野）、東京書籍。社会（公民的分野）、東京書籍。地図、帝国書院。数学、啓林館。理科、大日本図書。音楽（一般）、教育芸術社。音楽（器楽）、教育芸術社。美術、日本文教出版。保健体育、学研教育みらい。技術・家庭（技術分野）、開隆堂出版。技術・家庭（家庭分野）、東京書籍。英語、三省堂。

以上でございます。

[米田教育長]

事務局からの説明が終了しました。この件については、先ほど協議いたしましたが、さらにご質問・ご意見がございましたらお願いいたします。

[米田教育長]

なければご質問、ご意見はこれにて終結いたします。

お諮りします。議案第20号・日野市立中学校教科用図書の採択について、を原案のとおり決することに異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

[米田教育長]

異議なしと認めます。議案第20号は原案のとおり可決されました。

図書の入れ替えをいたします。しばらくお待ちください。

[米田教育長]

議案第21号・日野市立中学校教科用図書（特別の教科 道徳）の採択について、事務局より提案理由の説明をお願いします。

○議案第21号 日野市立中学校教科用図書（特別の教科 道徳）の採択について

[谷川教育部参事]

議案書、5ページをお開きください。

議案第21号・日野市立中学校教科用図書（特別の教科 道徳）の採択について、ご説明申し上げます。

提案理由でございます。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条第1項及び第14条、同法施行令第14条第1項及び第15条の規定に基づき、令和2年度に日野市立中学校で使用する特別の教科 道徳における教科用図書を採択するものでございます。

議案書、次のページをお開きください。

ここに記載しております教科用図書について、採択するものでございます。

中学校におきましては、学習指導要領のもとで編集発行された教科用図書を平成30年度に採択しております。平成30年度の採択では採択された教科用図書を31年度から2年間使用するとされております。今回の提案は、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条に、義務教育諸学校において使用する教科用図書については、政令で定めるところにより、政令で定める期間、毎年度、種目ごとに同一の教科用図書を採択するものとする、とありますので、今回このような形で提案するものでございます。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

[米田教育長]

事務局からの説明が終了しました。ご質問がございましたらお願いいたします。

[米田教育長]

なければ意見を伺います。

[米田教育長]

なければご質問、ご意見はこれにて終結いたします。

お諮りします。日野市立中学校教科用図書（特別の教科 道徳）の採択について、を原案のとおり決することに異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

[米田教育長]

異議なしと認めます。議案第 2 1 号は原案のとおり可決されました。

図書の入れ替えをいたします。しばらくお待ちください。

[米田教育長]

議案第 2 2 号・日野市立小・中学校特別支援学級教科用図書の採択について、事務局より提案理由の説明をお願いします。

○議案第 2 2 号 日野市立小・中学校特別支援学級教科用図書の採択について

[谷川教育部参事]

議案書 7 ページをお開きください。

議案第 2 2 号・日野市立小・中学校特別支援学級教科用図書の採択について、ご説明申し上げます。

提案理由でございます。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 2 1 条第 6 号、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第 1 3 条第 1 項及び第 1 4 条、同法施行令第 1 4 条第 1 項及び第 1 5 条第 1 項、学校教育法附則第 9 条第 1 項、同法施行規則第 1 3 9 条の規定に基づき、令和 2 年度に特別支援学級の児童生徒が使用する教科用図書を採択するものでございます。

ただいま提案理由で申し上げましたとおり、特別支援学級教科用図書の採択につきましては、小中学校の特別支援学級で特別の教育課程を編成している場合、学校教育法附則第 9 条第 1 項、同法施行規則第 1 3 9 条の規定により、教科により当該学年用の文部科学省検定教科用図書を使用することが適当でないときは、当該学校の設置者の定めるところにより他の適切な教科用図書を使用することができる、とされています。

今回の特別支援学級教科用図書の採択におきましては、文部科学省検定教科書、文部科学省著作教科書及び学校教育法附則第 9 条第 1 項に規定する一般図書から採択することになります。

今回の採択におきまして、文部科学省検定教科書を選定している場合、通常の学級で使用する教科用図書と同様の教科用図書を特別支援学級でも使用することになります。小学校につきましては、今回の教育委員会定例会にて採択された教科用図書を令和 5 年度まで

使用することになります。中学校につきましては、今回の教育委員会定例会にて採択された教科用図書を令和２年度に使用することになります。

議案書４１ページをお開きください。

特別支援学級教科用図書採択資料という表題になっております。

調査研究の趣旨が枠組みの中に示してございます。

はじめに、１特別支援学級における教科用図書の調査研究について、をご覧ください。

令和元年６月１４日付の文書にて、各学校に特別支援学級教科用図書の調査研究依頼をいたしました。各学校において教科用図書について調査研究を行い、特別支援学級設置校から６月２４日までに教育委員会事務局に報告をいただいたところでございます。

次に、２調査研究の基本的な考え方をご覧ください。

次の三点が示されております。基本的な考え方になります。

第一に、①児童・生徒の障害の種類、程度、能力、特性に最もふさわしい内容の図書であること。第二に、②可能な限り、系統的に編集されており、教科の目標に沿う内容をもつ図書であること。第三に、③学年進行にあたって上の学年で使用する事となる教科書との関連性を考慮すること、この三点を踏まえて各学校では調査研究を行いました。

各学校の調査研究結果の一覧を４１ページの下段にまとめてございます。各学校の調査研究結果の一覧に示してありますとおり、各学校とも児童・生徒の能力や特性などに合わせてふさわしい内容のものを選択しております。

戻りますけれども、８ページから４０ページにかけましては各学校の調査研究を行い報告された資料となっております。図書名の前に表記されました㊦㊧㊨という表記でございますが、㊦につきましては文部科学省検定教科書、㊧につきましては文部科学省著作教科書、㊨につきましては学校教育法附則第９条第１項に規定された一般図書を表わしております。また、横軸にございます教科書記号・番号の記載につきまして、㊦は文部科学省検定教科書から、㊧は文部科学省著作教科書から、㊨につきましては東京都教育委員会が調査研究を行った図書から選定してございます。

空欄のものにつきましては、今年になり東京都から令和２年度用一般図書一覧として図書の紹介がございましたので、その紹介された図書を学校が独自で調査研究を行い、選定をしているところでございます。

特別支援学級の教科用図書の採択といたしましては、学校教育法附則第９条第１項に規定する一般図書から８７冊、特別支援学校の小学部、中学校で使用する文部科学省著作教科書から２冊、文部科学省検定教科書から７５冊の計１６４冊を選定しており、それぞれの障害種別、程度等、個々の状況に応じて各学校から選定した報告がございました。

以上で特別支援学級教科用図書の調査研究の経過並びに採択に関する説明を終わります。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

[米田教育長]

事務局からの説明が終了しました。ご質問がございましたらお願いいたします。

[米田教育長]

なければ意見を伺います。

[米田教育長]

なければご質問、ご意見はこれにて終結いたします。

お諮りします。日野市立小・中学校特別支援学級教科用図書の採択について、を原案のとおり決することに異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

[米田教育長]

異議なしと認めます。議案第22号は原案のとおり可決されました。

ここで、議事の都合上、休憩をとります。しばらくお待ちください。

[米田教育長]

再開します。

議案第23号・日野市立幼稚園保育料条例の一部を改正する条例の提出について、事務局より提案理由の説明をお願いします。

○議案第23号 日野市立幼稚園保育料条例の一部を改正する条例の提出について

[加藤学校課長]

それでは、議案第23号・日野市立幼稚園保育料条例の一部を改正する条例の提出について、ご説明申し上げます。

恐れ入ります、議案書の43ページをご覧ください。

提案理由でございます。子ども・子育て支援法施行令の改正に伴い、本条例の改正議案を市議会に提出することについて、ご審議をいただくものでございます。

はじめに、今回の改正について概要を説明させていただきます。

令和元年10月より、幼児教育保育の無償化が実施されるに当たり、子ども・子育て支援法施行令の改正が行われ、市が定める保育料の上限が零と規定されました。これに伴い本条例を改正し、市立幼稚園の保育料を零とするほか、無償化となることで不要となる保育料の徴収に係る手続きの規定を削除するものでございます。

恐れ入ります、議案書の45ページをご覧いただきたいと思います。

新旧対照表でご説明をさせていただきます。

主な改正点でございます。新旧対照表の中段やや下でございます。第3条でございます。第3条を、保育料の額は、零とする、と改めるものでございます。また、それ以下の各条及び別表等は、保育料を徴収する際の手続き等を規定したものととなりますので、今回削除をさせていただきます。

恐れ入ります、44ページをご覧いただきたいと思います。

付則でございます。本条例は、令和元年10月1日から施行するものでございます。また、その下は改正後の経過措置を定めたものでございます。

説明は以上となります。よろしくご審議のほど、お願い申し上げます。

[米田教育長]

事務局からの説明が終了しました。ご質問がございましたらお願いいたします。

[米田教育長]

なければ意見を伺います。

[米田教育長]

なければご質問、ご意見はこれにて終結いたします。

お諮りします。日野市立幼稚園保育料条例の一部を改正する条例の提出について、を原案のとおり決することに異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

[米田教育長]

異議なしと認めます。議案第23号は原案のとおり可決されました。

[米田教育長]

報告事項第10号・行政情報の公開請求、について事務局より報告をお願いします。

○報告事項第10号 行政情報の公開請求

[村田庶務課長]

議案書59ページをご覧ください。

報告事項第10号・行政情報の公開請求、について報告をさせていただきます。

議案書60ページから65ページをご覧ください。

請求日、決定日、請求件名、決定内容は、記載のとおりでございます。

報告は以上でございます。

[米田教育長]

事務局からの報告が終了しました。ご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。

[米田教育長]

なければ、報告事項第10号を終了いたします。

これより議案第24号および議案第25号の審議に入りますが、本件につきましては、公開しない会議といたしますので、関係職員以外の事務局説明員は退席しても差し支えないと思います。

異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

[米田教育長]

異議なしと認めます。関係職員以外の事務局説明員は退席してください。なお、本件の終了をもって、令和元年度第5回教育委員会定例会を閉会といたします。

(関係職員以外退室)

「教職員の内申の専決処分について」

「教育委員会職員の分限休職の専決処分について」

は公開しない会議の中で審議。

[米田教育長]

以上をもちまして、本日の案件はすべて終了いたしました。これにて令和元年度第5回教育委員会定例会を閉会いたします。

閉会 1 6 時 5 0 分